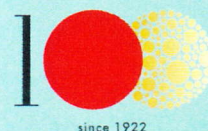


地域とともに、未来を創る



広がる！深まる！

商工会議所の キャリア教育

～地元を知り、愛する心を育てる教育～



日本商工会議所
The Japan Chamber of Commerce and Industry

地域総がかりで小中高12年間のキャリア教育を支援

第6回キャリア教育推進連携表彰 最優秀賞

日向商工会議所〈宮崎県〉



日向商工会議所は、所内に「キャリア教育支援センター」を設置し、学校、企業、地域をつなぎ、市内の全小中高校で12年間のキャリア教育「よのなか教室事業」を支援。「日向の大人はみんな子どもたちの先生」をキャッチフレーズに、地元企業の魅力を伝えている。

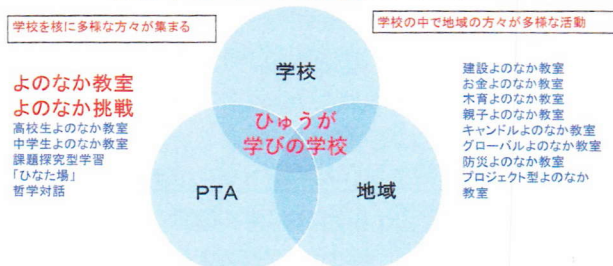
背景・経緯 産学官で目的と役割を明確化しスタート

2013年に日向市内の産学官による「日向市キャリア教育推進懇話会」がとりまとめた「日向の子供たちの未来づくり」プロジェクトに基づき、日向商工会議所内に設置されたキャリア教育支援センターは、日向の大人たちが「よのなか先生」として、市内の小中高校に出向いて子どもたちに働く喜びと苦労について本音で語ってもらう「よのなか教室」を同年9月にスタートさせた。

事業内容 多様なカリキュラム提案 定期的な研修で改善

本事業は、「よのなか先生」の個性が尊重される一方で、継続性に配慮し、定期研修会やキャリア教育担当教職員との合同研修会への参加が呼びかけられる。また、教職員には学年に応じた社会体験学習やプロジェクト型学習など多様なカリキュラムが提案、実施されている。

ひゅうが学びの学校 現在の「よのなか教室」カリキュラム



「よのなか挑戦」では、中学2年生の「14歳のよのなか挑戦」という職場体験学習、小学5年生の「仕事ウォッチング」「工場見学」など、学年ごとにプロジェクト型学習が準備されている。また、親子コミュニケーションのきっかけづくりをする「親子よのなか教室」や、地

元恒例のキャンドルイベントのためにローソクをつくる「キャンドルナイトよのなか教室」といったユニークなカリキュラムもある。



「よのなか先生」講話に聞き入る生徒たち

運営面では、商工会議所青年部・女性会、建設業協会、森林組合、農業協同組合、漁業協同組合、市役所、観光協会、地区まちづくり協議会など市内のさまざまな団体が連携し、学校内外の活動を支援している。

効果・成果 地域総がかりの取り組み 県内就職率アップ

同所による事業開始から8年が経過、「よのなか先生」への登録は、2021年9月時点で約200名。市内の全小中高校での参加生徒数は延べ56,000人超と、地域に広く定着している。また、2014～20年で市内3高校の県内就職率は、約15～27%上昇し、9割を超えた高校もあり、地域総がかりの取り組みが着実に成果を上げている。

課題・展望 新学習指導要領にも対応 さらに多様な学びへ

市キャリア教育支援センターは、STEAM教育や新学習指導要領に対応するなど、新たな授業カリキュラムづくりに引き続き注力している。また、コロナ禍においても、「オンラインよのなか教室」の実施、メッセージ動画をDVDにまとめた「おしえてよのなか先生」の制作など取り組みを継続しており、さらなる充実と強化を進める。

POINT

- 産学官が目的と役割を明確化し、小中高校生の育成を市民運動として周知徹底、地域総がかりで展開している
- 学校の先生が授業に取り入れやすいよう、教育委員会と連携し多様なカリキュラムを開発し続けている
- モデル授業や交流会、研修や情報交換会を通じて、企業と学校の先生が交流を深めることで気づきが生まれ、さらなる発展へとつながっている